

# 外来種オオハンゴンソウの 駆除にご協力をお願いします

保存版

たきざわ環境パートナー会議いきもの探偵隊、岩手県立大学総合政策学部

## オオハンゴンソウってどんな植物なのでしょうか

- オオハンゴンソウは、北アメリカ原産の外来種です。明治時代中期に観賞用として導入されたものが逃げ出して全国（特に北海道・東北地方）に広がっています。
- キク科の多年草で高さ1~3mに成長します。種と根、地下茎で増えます。とても繁殖力が強いいため、外来生物法で**特定外来生物**に指定されています。

### オオハンゴンソウの見分け方

- 5月頃の若葉はヨモギに似ています。ヨモギは、柔らかく葉の裏が白い、茎に毛があります。オオハンゴンソウは、葉の表面がざらついていて、葉の切れ込みが深く、茎がすべすべとしています。
- 7月~10月にかけて、先の方に6~10cmの黄色い花を多数つけます。花びらは少し下に垂れ下がります。真ん中の玉は黄緑色ですが、種ができると黒っぽく見えます。



オオハンゴンソウ

オオハンゴンソウは葉の表面がざらざらしています。また、葉の切れ込み(ぎざぎざ)が深い。



ヨモギ

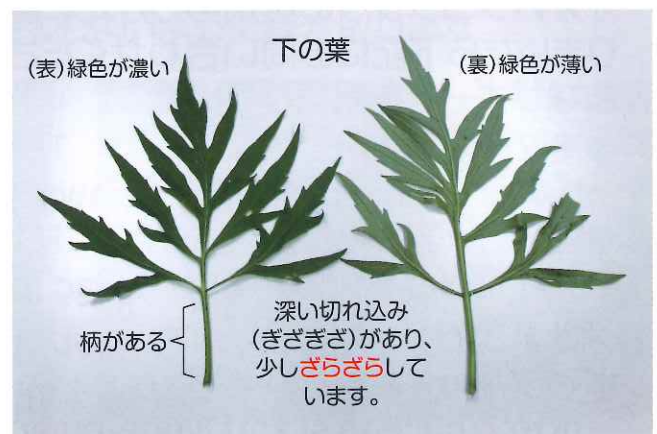
ヨモギは葉の裏が白く、もむと独特の香り(草もち)がします。



真ん中の玉はたくさんの小さな花が集まったものです。若いときは黄緑色ですが、秋に小さな種をたくさんつけると茶色になります。

茎は、白っぽく、すべすべしています。

下の葉は柄があってたくさんの切れ込みがあります。上の葉は柄が短く、切れ込みが少なくなります。



(表) 緑色が濃い

下の葉

(裏) 緑色が薄い

柄がある

深い切れ込み(ぎざぎざ)があり、少しざらざらしています。



# 外来生物(種)とは

- 日本には外国から多くのいきものが渡ってきています。現在の国境の「外」から江戸時代より後に日本に入ってきた生物のことを「**外来生物(種)**」といいます。
- 外来生物の中には、一部ですが地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるものがいて、「**侵略的外来生物**」と呼ばれています。この侵略的外来生物の中でも、特に日本の自然環境や農林水産業、人の健康などに悪影響を与える生物が、「**外来生物法**」によって「**特定外来生物**」に指定されています。
- 外来生物法の目的は、特定外来生物による生態系、人の生命身体、農林水産業への被害を防止することです。そのために、問題を引き起こす海外起源の外来生物を特定外来生物として指定して、その**飼養、栽培、保管、運搬、輸入などを規制し、防除等を行ないます**。
- 特定外来生物を植えたり・撒いたり・運んだり・野外に放ったりすると懲役3年以下若しくは300万円以下の罰金に問われます。  
例えば、**オオハンゴンソウなどを庭に植えたり、種を撒いて育てたりすると法に触れる恐れがあります**。
- 特定外来生物(オオハンゴンソウなど)対策は、被害が発生してからでは遅く、防除に大変な費用と労力が必要なので早めの対策が必要です。
- 外来種の脅威から日本の植物たちを守るためには、何よりもまず入れないこと、増やさないことが大切です。また、もし侵入しているようであれば早期発見、早期駆除が必要になります。
- 外来生物被害予防3原則
  1. **入れない** ~悪影響を及ぼす外来生物をむやみに入れない
  2. **捨てない** ~飼っている外来生物を野外に捨てない
  3. **拡げない** ~野外にすでにいる外来生物は他地域に拡げない

## オオハンゴンソウに似ている植物

下のような似ている植物もあります。どちらも外来の植物です。



### オオキンケイギク

北米原産の多年草で、5月~7月にかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせます。高さは30~70cm。花びらの先端には不規則に4~5つのぎざぎざがあります。これも**特定外来生物**です。よく庭に植えられています。



### アラゲハンゴンソウ

北米原産の多年草で、開花時期はオオハンゴンソウよりやや早く6月~9月。高さは60~80cm程度。花径は4~6センチで、花びらは黄色く、真ん中の玉は**黒紫色**をしています。オオハンゴンソウの玉は、黄緑色です。



# オオハンゴンソウの駆除について

ご自宅の庭や田畑などから駆除をお願いします。

## ■ オオハンゴンソウの駆除

滝沢市では、市の天然記念物「春子谷湿原」を守るため、侵入してきたオオハンゴンソウの抜き取り駆除を始めました。しかし、市内に広がったオオハンゴンソウの駆除には、みなさまのご協力が必要です。まずは**ご自宅の庭や田畑から駆除**していただくようお願いします。

## ■ オオハンゴンソウの強い繁殖力

オオハンゴンソウは、わずかな根の破片から再生する能力を持っています。また、種は土の中で何年も眠っていて、掘り返すと発芽するなどとてもやっかいな植物です。このため、一回では駆除できません。粘り強く、あきらめずに駆除を続ける必要があります。

次のとおり、駆除方法をお知らせしますので、無理なく継続して取り組んでください。

## オオハンゴンソウの駆除方法

### ① 抜き取り → 根絶をめざす

■ 時期：いつでもよいのですが、できれば種ができる**9月以前に駆除**してください。

■ 方法：根から全体を抜き取ります。  
この方法は大変な作業になりますので、無理をしないでください。  
オオハンゴンソウは、多年草なので地下茎や根が残ると再び成長して増えますので、できるだけ根を残さないように抜き取ります。



オオハンゴンソウの根 なかなか掘れません



滝沢市総合公演付近での駆除作業



## ② 刈り取り → 分布範囲の拡大を防ぐ

- 鎌や刈り払い機などで地際から刈り取ります。
- きれいな花ですが、刈り残さないでください。  
草刈、一斉清掃、水路の管理を行う時にも、刈り残さず一緒に刈り取ってください。
- この方法は簡単ですが、根が残っているので根絶することはできません。  
分布の拡大を防ぐことはできるので、できれば、年数回、花や種を付ける前に刈り取ってください。



刈り残されたオオハンゴンソウ

## 駆除したオオハンゴンソウの処理方法

### 種と根を飛散させないで処分することが大切です。

- ゴミ袋などに入れて、燃えるごみとして処分してください（花と根だけでもOKです）。
- 運び出せない場合は、飛散に気をつけて、その場で腐らせるか枯らしてください。
- 種と根を確実に処分してください。



春子谷地での駆除作業

- オオハンゴンソウ駆除についてのサポート  
オオハンゴンソウの区別のしかた、駆除方法などについてわからないことがありましたら下記にお問い合わせください。いきもの探偵隊員の派遣などさまざまなサポートを用意しています。

- 滝沢市役所環境課 TEL 019-656-6510 FAX 019-684-2120  
Mail : kankyous@city.takizawa.iwate.jp
- 岩手県立大学総合政策学部渋谷研究室 TEL 019-694-2746 FAX 019-694-2747  
Mail : kshibuya@iwate-pu.ac.jp

- オオハンゴンソウについての詳しい情報については、オオハンゴンソウ調査のポータルサイトをご覧ください。  
<http://cuckoo.si.soft.iwate-pu.ac.jp/ikimono/>